

Istanbul Weekly vol.8-no.29

イスタンブール ウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2019年11月15日（金）

— 今週のポイント —

政治：エルドアン大統領、13日に訪米し、トランプ米大統領と会談。

経済：10月の消費者物価上昇率(CPI)、8.55%。

中央銀行の準備高、1,020億米ドルに減少。

治安：イスタンブールでバスが暴走。

社会：第41回ボーダフォン・イスタンブール・マラソンが開催。

政治

【内政】

●HDPの自治体区長解任

11月3日、マルディン市クズルテペ区のニリュフェル・エリッキ・ユルマズ区長が解任され、ヒュセイン・チャム・クズルテペ郡長が代理市長に任命された。1日には、ヴァン県でジャーズィエ・ドゥマン・サライ区長が解任されたばかりだった。また、12日にはディヤルバクル県イェニシェヒル区長、ハズロ区長、シュルナク県イディル市長、トゥンジェリ県アクパザル市長が解任された。解任された市長・区長はいずれも HDP 所属で、これまでに解任された HDP の自治体の数は合計で 20 市・区となった。(11月2日、13日付けカラル紙インターネット版)

●エルドアン大統領、シリア国境訪問

11月3日、エルドアン大統領は、シャンルウルフアの陸軍基地を訪問し、「平和の泉」作戦についての2時間半に渡るブリーフィングを受けた。エルドアン大統領のほか、アカル国防相、ソイル内相、ギュレル参謀長官、フィダン MIT 長官等が同行した。またエルドアン大統領は、県庁および市庁舎を訪問し、その後市街地にて市民との懇談を行った。11月4日には大統領府関係者による会合が行われ、ロシアとのパトロールなどシリア情勢の最新状況やグテーレス国連事務局長との難民についての協議、米国下院で採択されたアルメニア人「虐殺」の決議などが話し合われた。(11月4日 M 紙 12 面)

●自閉症の児童に対する差別が問題化

アクサライの中央メフメトチック小学校で地区長などから自閉症児童のクラスを閉鎖するよう要請が行われたことが問題となっている。就学年齢となった自閉症児童に対し、「交流に適しているか」「交流に適していないか」について判断され、適応が可能な児童は、交流クラスに参加する権利を持つとされているが、多くの学校では自閉症児童が学級の規律を乱すとして受け入れていないことが現実であるという。(11月9日付け M 紙 1 面)

●エルドアン大統領「11月11日を国家的植林の日」

11月10日、エルドアン大統領は、ツイッターで、11月11日を国家的植林の日とし、トルコ全土 81 県の 2,023 箇所、1,100 万本の苗の植樹を行うと発表し、国民へ協力を呼びかけた。11日

11時11分、生中継で国内各地をつなぐ形式で同時に植樹式典が実施された。(11月12日付け M 紙 10 面)

●ヒュリエット紙の編集長交代

11月6日、ヒュリエット紙の編集長がヴァハット・ムンヤル氏から、旧オーナーであるドアン・ホールディングのアイドゥン・ドアン氏に近いとされるアフメット・ハーカン氏に交代した。(11月6日付けイエニ・シャファック紙インターネット版)

【外交】

●エルドアン大統領、13日に訪米

(1)11月6日、エルドアン大統領とトランプ米大統領が二国間関係とシリア情勢についての電話会談を行い、13日にワシントンで会談を行うことが確認された。また8日、エルドアン大統領は、13日に訪米し、トランプ大統領との面談について、「この会談は非常に重要であり、「平和の泉」作戦の現状について顔を合わせて評価することは有益となると信じている。」と述べた。(11月9日付け M 紙 12 面)

(2)11月13日、ワシントンにて1時間15分にわたるトルコ・米国首脳会談が行われ、会談後の共同記者会見では、両国関係をより堅固に深化させていくこと、テロ問題における相互協力、両国間の貿易額を1,000億米ドルとすること等が述べられた。また、トルコ国内で野党からの批判があったトランプ米大統領からの書簡の扱いについて、エルドアン大統領は、「レターをトランプ大統領に返却した。」と述べた。トランプ米大統領からは、FETO 関係者としての容疑によりトルコで拘束されていた NASA 職員セルカン・ギョルグ氏が5月に釈放されたことについて、「感謝する」と発言があったほか、S-400について「困難な問題ではあるが、解決することを望む。今後も対話を継続する。」と述べた。(11月14日付け M 紙 14 面)

(3)ワシントン・ポスト紙によると、首脳会談ではフェトフツラー・ギュレン師の引き渡しについて、トルコ側から要求が伝えられたと報道されている。(11月14日付け M 紙 15 面)

(4)1915年の事件をアルメニア人「虐殺」とする決議草案について、グラハム米上院議員が意見表明を行い、投票をブロックした。グラハム議員は「直前にトルコの軍事オペレーションによりシリアで発生した問題について、エルドアン大統領及びトラン

プ米大統領と会談した。トルコとアルメニアがともにこの問題を取り上げることをお願い。ここで歴史を書き換え、事実と異なる形で示すことはあるべきではない。」と述べた。(11月15日付けM紙15面)

●エルドアン大統領とプーチン露大統領の電話会談

11月9日、エルドアン大統領は、プーチン露大統領と電話会談を行い、シリア情勢および10月22日に合意したソチ合意についての確認を行ったほか、両国の関係強化及び貿易関係強化について話し合いが行われた。

(11月10日付けM紙19面)

●トルコ・ハンガリー間で10項目の合意締結

11月6日、ハンガリーを訪問したエルドアン大統領とオルバン・ハンガリー首相が共同記者会見を行い、10項目の合意文書に署名を行ったと発表した。外交官への研修における協力、情報・文書交換についての協力、宇宙の平和的目的での使用についての協力、奨学金プログラムについての協力、乗客、貨物の陸路での国際移動についての協力、文化交流協定、教育に関する協定、家族・労働社会サービス省とハンガリー人的資産省との協定、郵便・e-ビジネス(商業)についての協定、国家アーカイブに関する協定などの分野で合意がなされた。(11月7日付けM紙インターネット版)

●トルコ国内のテロリストを各国に送還

11月11日、チャタクル内務省移民担当副大臣は、『外国人テロリスト戦闘員』の送還手続きを11日に開始し、既送還センターで手続きを完了させた米国のテロリストが出国したほか、ドイツ及びデンマーク国籍のテロリスト2名を11日中に出国させる。」と発表した。また独国籍の9名のテロリストのうち7名を11月14日に、2名を1週間以内に国外送還する予定であり、仏国籍の11名及びアイルランド国籍の2名の国外送還手続きが継続中であると述べた。なお、エディルネのパザルクレ国境からギリシャに送還予定であったテロリストはギリシャ側に受入れを拒否された。トルコ側も受入れを拒否したことで、テロリストは両国間の緩衝地帯で待機することになった。(11月12日付けC紙12面及びM紙11面)

●シェントプ国会議長の日本訪問

11月4日、シェントプ国会議長がG20議長会議のため日本を訪問し、東京ジャーマーやユヌス・エムレ文化センター等への視察を行った。(11月5日付けAAインターネット版)



(写真は、11月5日付けAAインターネット版から)

経済

【マクロ経済】

●9月の貿易赤字、21億米ドル

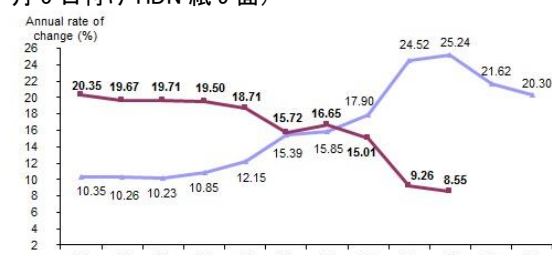
10月31日、トルコ統計庁(TUIK)は、9月の貿易赤字が対前年同月比6.6%増の21億米ドルだったと発表。輸出額は同0.3%増の144億米ドル、輸出は同1%増の165億米ドル。輸出の輸入に対するカバー率は、前年同月の88.2%から低下し87.5%となった。(11月1日付けHDN紙9面)

●10月までの輸出額、対前年同期比2%増

11月3日、貿易省は、1月から10月までの輸出額は昨年同期比2.1%増の1,490億米ドルとなったと発表。中間財及び消費財の輸出は、それぞれ同1.97%、同1.3%増の710億米ドルと590億米ドル。一方、同期間の輸入額は、同13.2%減の1,720億米ドルで、同期間の貿易赤字は、同55.6%減の232億米ドルで、輸出の輸入に対するカバー率は73.6%から86.5%に上昇した。(11月4日付けHDN紙9面)

●10月の消費者物価上昇率(CPI)、8.55%

11月4日、トルコ統計庁(TUIK)は、10月の消費者物価上昇率(CPI)が対前年同月比8.55%であったと発表。対前月では2%上昇した。前月の9.26%から0.71%ポイント低下し、過去3年で最低の数字を記録した。なお、前年同月から最も価格が上昇したのは43.6%のアルコール飲料。医療費は14.24%、教育費は14.2%、宿泊・外食費は13.71%上昇した。先週、トルコ中央銀行は年末のインフレ予測を13.9%から12%に引き下げている。(11月5日付けHDN紙9面)



(グラフはTUIKから)

●9月の経常収支、24.8億米ドルの黒字

11月12日付けのトルコ中央銀行の発表によると、9月の経常収支は24.8億米ドルの黒字を計上し、前年同月から5.99億米ドル改善した。経常収支改善の要因は、貿易赤字が対前年同月から4,800万米ドル減の8.67億米ドルに縮小し、サービス収支が同6.94億米ドル増の43億米ドルとなったこととされる。(11月13日付けHDN紙9面)

●フィッチ、トルコの経済見通しを「安定的」に

(1) 11月1日、国際格付け機関のフィッチは、トルコの経済見通しを「ネガティブ」から「安定的」と修正し、BB-の格付けは据え置きとした。また、第2四半期の好調な結果を受け、2019年のGDP成長率予測を0.8%引上げ、0.3%とし、2020年の予測は3.1%、2021年の予測は3.6%と据え置いた。(11月2日付けHDN紙インターネット版)

(2) 11月5日、フィッチのダグラス・ウィンズロウ・ディレクターは、同修正は、本年7月以降の景気悪化が緩和され、安定とリバランシングに向かうトルコ経済を反映しており、特に経済成長と経常収支の改善が続いていることも大きいとした上で、次レビュー時における「BB-」の格付け自体を上方修正する見込みはほとんどないとした。(11月7日付けHDN紙9面)



(11月2日付けHDN紙インターネット版から)

●中央銀行の準備高、1,020億米ドルに減少

11月8日時点の中央銀行が保有する外貨準備高が前週から28.4億米ドル減少し754.3億米ドル、金準備高が3.9億米ドル

減少し 266 億米ドルとなり、総準備残高が前週の 1,052 億米ドルから 32.4 億米ドル減の 1,020 億米ドルとなった。(11 月 15 日付け BirGun 紙インターネット版)

【金融】

●大統領府、無利子の金融システム及び融資方法を検討

11 月 4 日、大統領府の年次計画において、次年度に無利子の金融システムに関する規制を定めることが明らかにされた。同計画では、無利子のコーポレート・ローンが推進されるほか、「スクーク(無利息手形)」「(当館注: 利子の授受が禁止されるイスラム法に則って発行される債券(イスラム債)。資金調達者が特別目的事業体(SPV)を設立し、SPV を通じてスクークを発行することにより投資家から資金を調達。SPV は投資家の受託者として資金を資産または事業に投資し、発生した利益がスクーク保有者への配当の原資となるスキーム。)も発行される。この無利子金融システム規制の枠組みにおいて、政府は農地収入のための不動産投資信託を設立することを目指す」とされる。(11 月 7 日付け HDN 紙 9 面)

【経済政策】

●行政手数料を 22.58%値上げと発表、反対を受け保留に

毎年 10 月の生産者物価指数に基づいて改定されるパスポートの発行、罰金、税様々な行政手数料の再評価率が、2020 年は 22.58%とされることが発表された。10 月の消費者物価指数が 8.55%と発表されたこととの落差に対する反発の声が上がったことを受け、財務省は、大統領が最終的な再評価率に関する決定を下すと一度引き下げる姿勢を示した。(11 月 6 日付け SOZCU 紙インターネット版)

【自動車】

●10 月の自動車販売数、対前年同月比 127.5%増の 49,075 台

11 月 4 日、自動車販売業者協会(ODD)は、トルコ国内の乗用車及び軽商用車の 10 月の販売台数が対前年同月比 127.5%増の 49,075 台だったと発表。乗用車は、同 138%増の 39,996 台だった。2019 年の 1 月から 10 月までの販売台数総計は、対前年同期比 31.88%減の 330,384 台。(11 月 4 日付け AA)

●10 月の自動車輸出額、28 億米ドル

ウルダー自動車産業輸出業者協会は、10 月の自動車輸出額が対前年同月比 3.5%減の 28 億米ドルと発表。CIS 諸国への輸出は 63%、中東諸国への輸出は 43%増加した一方、輸出額の 76.5%を占める EU 諸国への輸出額は 5%低下した。10 月、自動車産業はトルコの全輸出額の首位を占め、17%だった。(11 月 5 日付け HDN 紙 9 面)



(写真は、11 月 8 日付け HDN 紙インターネット版から)

●イラン自動車メーカー・ホドロ社、ワンでの生産を検討

イラン最大手の自動車メーカー、ホドロ(Khodro)社が、トルコ東部のワン県で生産工場建設のためのフィージビリティ調査を行っていることが明らかになった。ファルシャッド・モーキミー同 CEO は、1.5 億から 2 億米ドルを投じて工場を建設し、800 人から 1,000 人の雇用を予定していると述べている。(11 月 1 日付

け BloombergHT 紙インターネット版)

【航空】

●THY、羽田空港便及び関空便を増便

イルケル・アイジュ THY 会長は、イスタンブール空港の第 3 滑走路が完工した後、日本や中国などのアジア方面及び米国やカナダへ増便することを発表。同会長は東京羽田空港の発着枠を確保していること、また 2020 年 4 月に関空便を再開させることを明らかにした。ターキッシュ・エアラインズは 9 月末の時点で 316 都市へ就航している。(11 月 4 日付け HDN 紙 9 面)

●イスタンブール空港運営事業体(IGA)、50 億ユーロを借り換え

10 月 5 日、イスタンブール空港運営事業体(IGA)は、IGA の債務のうち最大 50 億ユーロをリファイナンスすることを決定したことが報じられた。ドウシュ・ホールディングとフィバ・ホールディングがロンドンに共同で設立したドーム・グループが IGA の債務借り換え交渉を担当。同空港建設のための投資額は 102 億 4,700 万ユーロとされる。(11 月 5 日付け SPUTONIK 紙インターネット版)

【エネルギー】

●2019 年は 10 月までに 46%を再生可能エネルギーから発電

11 月 5 日、ドンメズ・エネルギー天然資源相は、2019 年の 1 月から 10 月までの間に総発電量の 46%を再生可能エネルギーから発電したと発表。また、国内資源を用いた発電と再生可能エネルギーを合算すれば史上最高となる 64%に達したことを明らかにした。現在、トルコは風力発電により電力の 8%を賄っているが、今後 3 年間で 10%にまで引上げを目指す。(11 月 6 日付け HDN 紙 9 面)

【交通】

●初の中国からの列車、マルマライを通過

11 月 7 日、初の中国からの貨物列車がマルマライ経由でボスポラス海峡を通過し、ヨーロッパ大陸へ到達した。6 日、トゥルハン運輸インフラ相は、西安を発する同路線は、中国とトルコ間の貨物輸送時間を一か月から二週間へと短縮したと述べ、トルコは北京からロンドンを結ぶ「中央回廊」及びトルコとカザフスタンを結ぶ「鉄のシルクロード」における中央の結節点となったと発言。この中国鉄道高速線の積載量は 42 トラックに匹敵すると説明した。(11 月 8 日付け HDN 紙 1 面及び 4 面)

【建設】

●イスタンブール・タワー205、中国工商银行に売却

イスタンブール市レベント地区で建築中の超高層ビル、イスタンブール・タワー205 が、5.94 億米ドルでジンジル建設から中国工商银行(ICBC)に売却されることが明らかになった。同ビルは高さ 205 メートルの 52 階建てで、778 オフィスが入居可能とされる。(11 月 8 日付け SOZCU 紙 9 面)

【医療】

●2018 年の医療関係支出、290 億米ドル

11 月 12 日、トルコ統計庁(TUIK)は、2018 年の医療関係支出が対前年比 17.5%増の 1,652 億米ドルであったと発表。一方、2018 年の全医療関係支出に対する財政支出の割合は 77.5%で、2017 年の 78%から低下した。また、トルコにおける病院の施設数は前年から 11,065 施設増加し、80,701 施設(うち、65,373 公立病院、15,328 私立病院)。2018 年の一人当たりの医療費支出(治療費及び薬代等)は対前年比 15.9%増の 2,030

トルコリラだった。(11月13日付け HDN 紙 9 面)

●保健相:新たな「都市病院」は PPP 方式とはせず

11月12日、ファフレッティン・コジャ保健相は、計画予算委員会において、新たな「都市病院(Sehir Hastanesi)」の建設では官民連携(PPP)方式は採用せず、政府予算により建設を行うと発言。現在10都市病院が入札プロセスにあるが、オールドウ、サカリヤ、サンジャクテペの入札はキャンセルされ、残り7病院の入札も数か月内にキャンセルされると説明した。(11月14日付け AA)



(11月14日付け AA から)

【企業等の動き】

●ホシザキ、業務用厨房機器トルコ最大手の株式 28.6%取得

11月7日、世界トップ3の業務用厨房機器の日本企業であるホシザキが、同分野のトルコにおける最大手のオズティリヤキレル社の株式を28.6%取得したことが明らかになった。ホシザキ社は、世界に51グループ企業及び1.3万人の従業員を擁する。ホシザキ社との合意に基づき、オズティリヤキレル社の経営体制、社名及び事業形態に変更は行われませんが、ホシザキ社のパートナーとして、高品質で、より迅速、効率的な生産やデザインの革新を行い、両社のシナジーにより互いの成長と広域での競争力の獲得を狙うとされる。(11月9日付け HT 紙インターネット版)



(11月9日付け HT 紙インターネット版)

●茶製造国営企業チャイクル、ソブリン管理下移行後 7.5 億 TL 赤字計上

アンカラ選出のアリ・ハイダル・ハクヴェルディ CHP 国会議員は、国営茶製造企業チャイクル社が、ソブリン・ファンドの管理下に移管されてから赤字に転落したことを指摘した。同社は、3年連続黒字決算であったにもかかわらず、2017年以降、赤字を計上。2018年は6億5,078万トルコリラを計上し、2019年の赤字は7億5,000万トルコリラに昇るとの見積もりを示した。茶の消費に変化はなく、過去2年に35%の値上げを行っているにもかかわらず赤字になるとは信じがたく、「議会の監督できないファンドは機能を果たすことができない、ファンドは閉鎖されるべきだ」と主張した。(11月8日付け SOZCU 紙インターネット版)

治安

●チャンクル県においてバグダディ氏の補佐官など11名逮捕

11月1日、警察は、トルコ中部のチャンクル県においてISIL関係の容疑で11名を逮捕したと発表。容疑者の内1名は死亡し

たバグダディ氏の補佐官であった人物とされ、捜査が続けられていた。(11月1日付け S 紙インターネット版)

●全国のテロ対策捜査で ISIL 関係者 7 名逮捕

11月3日、トルコ警察は、全国でのテロ対策捜査中に7名のISIL関係の容疑者を逮捕したと発表。容疑者の中にはISILでの訓練キャンプの責任者も含まれていた。(11月3日付け S 紙インターネット版)

●イスタンブールでバスが暴走

11月3日、イスタンブールのベシクタシュ区のバス停においてバスが暴走し、運転手は降車後に制止しようとした民間人1名を刃物で殺傷した。その後、運転手は海に逃走したが逮捕された。容疑者は33歳の男性で動機などについて調査が続けられている。(11月4日付け S 紙インターネット版)



(写真は11月4日付け HDN 紙インターネット版から)

●イランからの麻薬密輸で容疑者逮捕

11月6日、トルコ警察は、イスタンブールにおいて麻薬捜査を行い、イランから密輸された約100キロのヘロインを押収し、容疑者2名を逮捕したと発表。容疑者の車両から押収されたヘロインは細かく仕分けされており、ヨーロッパの各関係者へ届けようとしていたとして捜査が進められている。(11月6日付け S 紙インターネット版)

●新たな FETO 関連捜査で 34 名逮捕

11月6日、トルコ国内におけるFETOに対する捜査が行われ、合計34名が逮捕された。トルコ警察の発表では逮捕された容疑者の多くは軍事学校の生徒であり、暗号化アプリ「Bylock」を使用して現在においてもグループ間で連絡を取り合っていたとされる。(11月6日付け HDN 紙インターネット版)

●イスタンブール警察の騎馬警官

トルコ警察は、2018年からイスタンブール県に導入された騎馬警察の有用性や訓練内容について発表。現在は18名の分隊で構成されており、スルタンアフメットやタクシム広場などのパトカーが展開出来ない場所でのイベントの際に配置されており、特に昨年の大晦日のタクシム広場では有効であったとしている。(11月14日付け S 紙インターネット版)



(写真は11月14日付け S 紙インターネット版から)

●アルカイダの指名手配犯がイスタンブールで逮捕

11月14日、トルコ警察は、イスタンブール県において指名手配中だったアルカイダ系のテロリストを逮捕したと発表。この捜査は容疑者が違法にトルコへ入国したとの情報に基づいて行

われ、調査が進められていた。(11月14日付けS紙インターネット版)

社会

●第41回ボードフォン・イスタンブール・マラソンが開催

11月3日、第41回ボードフォン・イスタンブール・マラソンが開催され、106か国から約37,000人のランナーがマラソンに参加し、8kmのFunRunには約10万人が参加。42kmのカテゴリーでは、ケニアのダニエル・キプコレ・キベツ選手が新記録で男子タイトルを獲得し、エチオピアのヒルトチベツ選手が女子タイトルを獲得した。(11月4日付けHDN紙インターネット版)



(写真は、11月3日付けHDN紙インターネット版から)

●日本人ミュージシャンが、48年後にトルコ人の命の恩人と再会

1971年にイスタンブールを観光で訪れた22歳の音楽家のオカ・ハルミ女史は、イスタンブール郊外黒海側のシレ海水浴場で溺れたところを、トルコ人海兵のシェネル・エルトゥールル氏に救助された。48年後、ソーシャルメディアを通じて、命の恩人を探し当てたオカ女史は、息子と共にエルトゥールル氏を訪ね再会を果たした。オカ女史は「1971年、私は生まれ変わった。48年間いつもあの時の恩人に会いたいと思ってきた。彼に再会することができて幸せである。」と述べた。当時、オカ女史からのお礼を断ったエルトゥールル氏は「命を助けるのに見返りはいらない。苦勞して自分を見つけ出してくれたことに感激している。48年後にこのような友情につながるとは思いもしなかった。」と述べた。(11月5日付けM紙)



(写真は、11月5日付けM紙から)

●イスタンブールのレストランにて、ロボットが接客

イスタンブールのアタキョイ地区にあるレストランが、ロボットによる接客を開始。店員が行うサービスをすべて、「ロビ」と名付けられた3体のロボットが行う。(11月10日付けHDN紙インターネット版)



(写真は、11月10日付けHDN紙インターネット版から)

●マルディンにて古代の下水道が発掘

マルディン県南東部で1万1800年前のものとみられる下水道が発掘された。この遺跡発掘現場では、アルトゥクル大学およびマルディン博物館の15人の修復者、考古学者そして50名の作業員が発掘作業に当たっており、下水道の他にも、約20件の遺跡が発掘されている。(11月8日付けHDN紙インターネット版)



(写真は、11月8日付けHDN紙インターネット版から)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

機関・団体等

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	緊急災害事態対応庁	PKK	クルディスタン労働者党
AKP	公正発展党	PYD	シリア民主主義連合党
BDDK	銀行規制監督庁	RTUK	ラジオ・テレビ高等機構
BOT	建設・運営・譲渡方式	SNC	シリア国民評議会
CHP	共和人民党	SPK	証券取引監査院
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	THY	ターキッシュ・エアラインズ
HDP	人民民主党	TIKA	トルコ協力発展機構
IDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOKI	トルコ集合住宅開発局
ISO	イスタンブール工業会議所	TPAO	トルコ石油公団
ISID	イラク・レバントのイスラム国	TUBITAK	トルコ科学技術研究機構
ITO	イスタンブール商業会議所	TUIK	トルコ統計庁
KRG	クルディスタン地域政府	TUPRAS	トルコ石油精製会社
MHP	民族主義者行動党	TUSIAD	トルコ産業・実業家協会
MIT	国家情報庁	YOK	高等教育委員会
MUSIAD	トルコ独立産業家・実業家協会	YSK	高等選挙委員会

引用メディアの略称

略語	正式名称	略語	正式名称
AA	Anadolu News Agency	HDN	Hürriyet Daily News
C	Cumhuriyet	HT	Habertürk
D	Dünya	IA	Ihlas News Agency
DS	Daily Sabah	M	Milliyet
H	Hürriyet	S	Sabah

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB：https://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

●トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。

●新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2019.1.1～2019.11.14 ※総領事館に訴出があったものを集計								
	窃 盗		詐 欺		ぼったくりバー		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2018年	0件	9件	0件	2件	0件	15件	0件	6件
2019年	1件	15件	0件	1件	0件	9件	0件	5件

★当館 HP 更新のお知らせ★

●振り込め詐欺と思われる不審電話に対する注意喚起(11/7)

●今年はトルコでの ODA60 周年です(11/1)